

総合特別区域評価・調査検討会における評価結果の概要(令和2年度)

2. 分野別状況(2)地域活性化総合特区 ②ライフ分野(6/10)

	総合評価 (IとIIとIIIを1:1:2の割合で計算)	I	II	III	総合評価に係る専門家所見(主なもの)
		目標に向けた取組の進捗	支援措置の活用と地域独自の取組の状況	取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決	
さがみロボット産業特区 (神奈川県)	4.0	4.1 進捗度 ・生活支援ロボットの導入施設数 167% ・実証実験等の実施件数 140% ・特区発ロボットの商品化状況 100% 等	3.7 規制の特例等 ・医療機器製造販売承認等の手続の円滑化(薬事法)等 地域独自の取組 ・「セレクト神奈川NEXT」等による企業誘致の促進等	4.0	<ul style="list-style-type: none"> ・ロボット事業への参入を促すための実証実験や、実証実験フィールドの整備、企業誘致、開発支援、一般住民の認知度上昇のための広報活動など多様な促進事業を有機的に展開し、ロボット開発の実績を着実に進めていく点は評価できる。 ・ロボットが果たす役割の重要性はコロナ後の生活や保健医療に今後高まることは確実視されるため、新しいニーズに対応した開発支援と実証研究、実用化を積極的に進めて頂きたい。 ・ロボットリテラシー・ロボット経営コンサルタント等新たな視点での多様な挑戦に期待したい。 ・規制の特例措置や地域独自の取組を通じて、生活支援ロボットの実用化・普及を着実に進めている点が高く評価できる。ロボット導入後の使用者から製造者へのフィードバックも更なる実用化・普及を後押しする取組として評価できる。 ・今後はロボット活用による具体的なアウトカムの変化を評価してゆくといだろう。 ・生活支援ロボットについては、導入件数のみならず導入ロボットの内訳に関する情報共有も期待したい。